

『教育と憲法』 東京決起集会

ゲスト講師（第三部）戸塚ヨットスクール校長 戸塚宏



昭和十五年生まれ。名古屋大学工学部機械工学科在籍時にはヨット部主将として活躍。沖縄海洋博記念「太平洋－沖縄単独横断レース」では、四十一日間という驚異的世界記録で優勝。昭和五十一年に戸塚ヨットスクールを開校。同校の教育によって登校拒否児が更生した事実が広まり、全国から登校拒否、非行、家庭内暴力、情緒障害の子などが集まり、何百人もの子供を更生へと導く。その中での訓練中の死亡事故によって拘留を余儀なくされるも、その間に独自の「脳幹論」を確立させ、現在でも問題を抱える数多くの子供を更生へと導いている。

ゲスト講師（第二部）國體護持塾塾長 南出喜久治



昭和二十五年京都市生まれ。京都市堀川高校卒業。弁護士。税理士。憲法学会会員。独自の研究により新たな占領憲法無効論を完成させ、平成四年五月に、今上陛下に『占領憲法無効宣言』を諫疏する天皇請願を行う。著書には『日本国家構造論－自立再生への道』（政界出版社）、『燎原に火を灯せ』（共著、日本出版放送企画）、『現行憲法無効宣言』（萬葉社）、『日本国憲法無効宣言』（渡部昇一氏との共著、ビジネス社）等。主著『國體護持（こくたいごじ）』を、インターネットホームページ（<http://aishitemasu.com/>）で公開中。

講師（第一部）真・保守市民の会代表 遠藤健太郎よりご挨拶



大東亜戦争後、わが国は国民主権の民主主義を定着させようと、日本教職員組合(日教組)や全日本教職員組合(全教)は、「個」の権利と合理性のみを追及する人間への洗脳機関として役割を果たしてきた。彼らが提案してきた「ゆとり教育」は、結局中曽根政権以降の議論の末に採用された。物事には変わることのない真実があると教え、科学などの進化が求められる事に対して考える力を育てるのが「教育」であり、それを受けられなかった子供たちがもう子を持つ親になり始めている。変わることのない真実とは、我々がかように日本語を話すように、天皇陛下を頂点とする国家のあり方、すなわち國體であろう。

第四部 パネルディスカッション及び、参加者との質疑応答などを予定しております。



日時 平成21年9月12日(土)

開場 午後2時

開演 午後2時30分～午後5時30分

場所 銀座ルノアール 池袋西武横店 第7・8会議室

東京都豊島区南池袋1-6-20 むかりやビル2F

場所のお問い合わせは 03-5960-0056 まで

JR山手線、東京メトロ有楽町池袋駅から歩いて約5分

参加費 1,000円(ワンドリンク付き)

後援 戸塚ヨットスクールを支援する会

協力 國體護持塾

